

Kobe
Asahi

愛と健康の

kakehashi

No. 77

2022. 4月発行

か け は し

第一級の 医療人・医療機関 を目指して



理事長
すりやん 良
きむ 金 守

当院は、1988年（昭和63年）4月に、「1.まごころと良心をもって診療にあたり、患者の生命と健康を守る」「2.最新医学の成果を取り入れ、患者に最高の医療を提供する」「3.地域・同胞社会の人々と力を合わせ、患者の医療を受ける権利を守る」の3大理念を掲げ、産声をあげました。そして2020年2月1日より医療法人社団秀英会神戸朝日病院として再出発しました。その間には1995年の阪神淡路大震災や、2020年からは世界を席巻した新型コロナウイルス感染症拡大のため厳しい病院運営を余儀なくされるなどの試練に見舞われましたが、職員の一一致団結した力と地域患者の皆様への支援により乗り越え、創立34周年を迎えることができました。

一歩切除術、食道静脈瘤止血術等の治療はもとより、高度な技術を要する早期胃癌、早期大腸癌などに対する内視鏡的粘膜切開剥離術や膵・胆管癌の早期発見のための内視鏡的超音波診断を日常的に展開し、市内有数のレベルを誇っています。又、外科部門では卓越した複数の外科医が神戸大学からの支援も受け、胃・大腸などの進行消化器癌、胆石・虫垂炎・ヘルニアなどの手術治療を行い、良好な成績を上げています。

肝疾患領域では、日本肝臓学会から施設認定を、兵庫県から肝疾患専門医療機関の認定を受けています。大学病院や市民病院に劣らない日本肝臓学会認定指導医4名を有し、飽食の時代を反映して急増する脂肪肝やアルコール性、B型・C型ウイルス性の慢性肝炎・肝硬変・肝癌に至る肝疾患に対して最新の知見に立脚した質の高いトータルケアを展開しています。

第二に、急速に進む高齢化を迎える日本社会にあって、急性期、回復期のトータルケアに対応できる地域包括ケア型病院であることです。急速な高齢化が進む

日本において、これからの医療は「病気を治す」「従来型医療」から「病気を治し、生活を支える」「生活支援型医療」に転換する過渡期にあり、そのニーズが増大しています。当院は2016年から地域包括ケア病棟（34床）を整備し、そのニーズに全面的に応えてきました。それは、国が進める地域住民の皆様が住み慣れた地域で生涯を全うすることのできる地域包括ケアシステムに合致する活動と確信しています。

日本の伝統的芸術である能を発展させた世阿弥の「初心忘るべからず」という言葉は私の座右の銘ですが、それに続けて世阿弥は、「一流の能役者・劇団となるためには、小成に満足することなく1日1日の厳しい稽古を積み重ね、本番の舞台においては真剣勝負で臨むべし」ということを強調しています。この世阿弥の言葉は、600年の時代を超えて我々現代の医療人、医療機関においても当てはまると考えます。すなわち日々の研修と精進を怠らず、日常診療に全力で取り組むことの重要性です。

創立34年を迎えるにあたって、第一級の医療人として成長し、第一級の医療機関として発展するために、1日1日努力を積み重ねることを、職員全員の誓いとし、皆様のより一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。





内視鏡室 主任
きた けんいち
北 健一 (放射線技師)

胃カメラの検査、 大腸カメラの検査をしませんか？

— 早期発見がカギ —

「胃カメラの検査しましょうか？」「大腸の内視鏡検査をしましょう！」と言われて、誰でも最初は「え〜!!」「怖いなあ」「苦しそうだから嫌だなあ」と思います。でも、検査を受けないで不安な時間を過ごすよりも、思い切って検査を受けたほうが良くないですか？

実際に、私自身も内視鏡検査を受けましたので、その気持ちはすごく解ります。ただ、検査を終えて、不安な気持ちを取り除けたことに安堵しました。そして、検査を受けたことにより、検査を受ける方の気持ちがよく理解できるようになりました。

当院内視鏡室スタッフは、検査を受ける前の不安や恐怖心、検査中の苦痛などに、自らが検査を受ける気持ちで、可能な限り患者様のそばで介助し、適宜お声をかけたり背中をさするなどしながら安心して検査を受けていただけるよう心掛けています。



当院では、常勤女性医師も内視鏡検査を担当しています。

女性の方で「大腸の検査がはずかしいな」と思われる方には、女性医師の検査担当をお勧めします。

また、鎮静剤を使用した上で検査を受けていただくことも可能です。何か不安なことや疑問等がありましたら、いつでもお声がけください。



内視鏡検査が
なるべく苦しくないように

胃カメラを 楽に受ける方法

- ① 咽喉麻酔…麻酔のスプレーをのどの奥に数回吹きかけます。
苦くて辛いです。約10秒で効果が表れます。
- ② 鎮静剤…ご希望があれば鎮静剤の注射をします。
「眠る薬」ではなく「緊張をとる薬」ですが、ホッととし、寝てしまう方もいます。

大腸カメラを 楽に受ける方法

- ③ 経鼻カメラ…ご希望があれば、鼻から細いカメラ（直径6mm弱）を入れて検査をします。舌の付け根にカメラが当たりにくいため「オエッ」となりにくいです。
※口から入れるカメラより細い分、できることに若干の制約があります。
 - ④ 検査中に体の向きを変えます。
 - ⑤ 大きく息を吸って止めていただきます。（横隔膜で腸を抑えます）
 - ⑥ 内視鏡スタッフがおなかを手で圧迫します。
 - ⑦ 希望があれば鎮静剤を使い、緊張をとりまします。
 - ⑧ 腸の動きを抑える薬を使います。
- 外来患者様が鎮静剤を使用された場合は、検査終了後、リカバリー室（経過観察室）で休んでいただき、状態を確認の上ご帰宅いただきます。お帰りの際は、自転車やお車の運転は避けていただき、公共交通機関の利用や送迎をお願いします。

コロナ感染防止対策

【検査前】

- ・検査2週間前からの体調管理をお願いしています。
- ・当日、コロナに関する問診いたします。
- ・当日検温をいたします。

【検査室にて】

- ・飛沫を防ぐため検査用のマスクを着用していただきます。（カメラが通るように穴をあけています）
- ・アクリルボックス、エアークュームを用いて飛沫を防護します。
- ・検査毎にベッド、周辺機器の清拭及び消毒をします。
- ・カメラ本体は、検査毎に手洗淨を行った後、自動洗淨器にて洗淨・消毒をします。



検査費用について

項目	1割負担	3割負担
胃カメラ検査	約 1,500 円	約 5,000 円
胃カメラ検査時、組織検査した場合	約 3,500 円	約 7,000 円～10,000 円
大腸カメラ検査	約 2,000 円	約 6,000 円
大腸カメラ検査時、組織検査した場合	約 5,000 円	約 9,000 円～15,000 円
大腸カメラ検査でポリープを切除した場合	約 7,000 円	約 18,000 円～29,000 円

※ 実際の診療内容や処方状況によって合計金額は変動いたします

生活習慣病 予防健診の ご案内 【協会けんぽ】

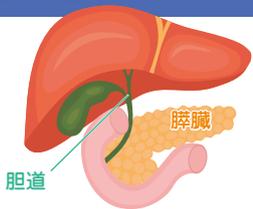
神戸朝日病院は、この度 協会けんぽの生活習慣病予防健診の指定医療機関となりました。具体的には、協会けんぽに加入されている事業所にお勤めの被保険者（ご本人）である従業員の方々に、協会けんぽの補助を利用してお気軽に健康診断を受けていただける制度です。生活習慣病予防健診の検査項目には、定期健診の検査項目が全て含まれています。また、がん検診がセットになっていますので、リスクの高いがんを早期発見することができます。生活習慣病の予防には、年1回の健康診断による健康管理をお勧めいたします。当院の生活習慣病予防健診では、胃透視検査から胃内視鏡検査へ差額費用なしでアップグレードすることが出来ます。この機会に、ぜひ生活習慣病予防健診を受診ください。

一般健診

診察等 / 問診 / 身体測定 / 血圧測定 / 尿検査
便潜血反応検査 / 血液検査 / 心電図検査
胸部レントゲン検査
胃部レントゲン検査（胃部内視鏡検査）
眼底検査（医師の判断で実施）

- 受診対象 **35歳～74歳**
- **自己負担額 7,169円**（協会補助額 11,696円）
総額 18,865円
※眼底検査（医師の判断により実施した場合）79円

人間ドック に新プラン 登場



膵・胆道ドック

膵臓がんや胆道がんは早期で発見することが難しく、自覚症状が出現した時にはすでに進んだ状態で発見されることが多いのが現状です。また最近では膵臓に膵嚢胞やIPMN（膵管内乳頭粘液性腫瘍）といった嚢胞性病変が偶発的に見つかることが多くなっています。これらは良性疾患ですが、年間1%の確率で膵臓がんが出現してくると言われており、定期的なフォローが必要となります。しかし、これらの病変も通常のCTやエコー検査では発見できないことが多く、実はこれらの病変を有していても気付かないままの方も多くおられます。膵・胆道ドックでは膵臓がんや胆管がんの早期発見、がんに関係する良性疾患が隠れていないかを調べることを目的としています。人間ドックをご希望の方は、下記よりお問い合わせ・お申し込みください。 ● **費用：60,000円**（税込）

- ◆ 検査：腹部（MRCP）検査、超音波内視鏡検査（EUS）、腹部超音波検査、腫瘍マーカーを含めた血液検査
- ◆ 見つかる可能性のある疾患

膵臓

膵臓がん、膵嚢胞、IPMN、
その他の膵嚢胞性病変、慢性膵炎、
自己免疫性膵炎、合流異常、分離膵管等

胆道

胆管がん、胆嚢がん、胆嚢腺筋腫症、
慢性胆嚢炎、胆嚢結石、総胆管結石、
肝内胆管結石、胆管狭窄等

※病変があまりにも小さい場合、がんの同定が出来ないことがあります。

- お電話でのご予約は、神戸朝日病院 **地域医療連携室（健診センター直通） TEL 078-612-5142** までお問い合わせください
- WEB予約はホームページより右画像のバナーをクリック
または、右側QRコードよりアクセスしてください ▶



認定施設

- 二次救急指定
- 兵庫県肝疾患専門医療機関
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会認定施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練関連施設
- 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
- 臨床研修指定（神戸大協力型）
- 日本医療薬学会認定薬剤師研修施設
- 日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
- 日本臨床栄養代謝学会NST稼働認定施設
- 日本栄養療法推進協会NST稼働認定施設
- 日本IVR学会専門医修練認定施設

交通のご案内

〒653-0801 神戸市長田区房王寺町3丁目5-25
神戸電鉄「長田駅」より徒歩5分
神戸市営バス ③・⑥・⑪・④⑩・⑪⑩
「房王寺町5丁目」バス停より徒歩5分

